

平成 30 年 12 月 5 日  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会  
プラスチック容器事業部

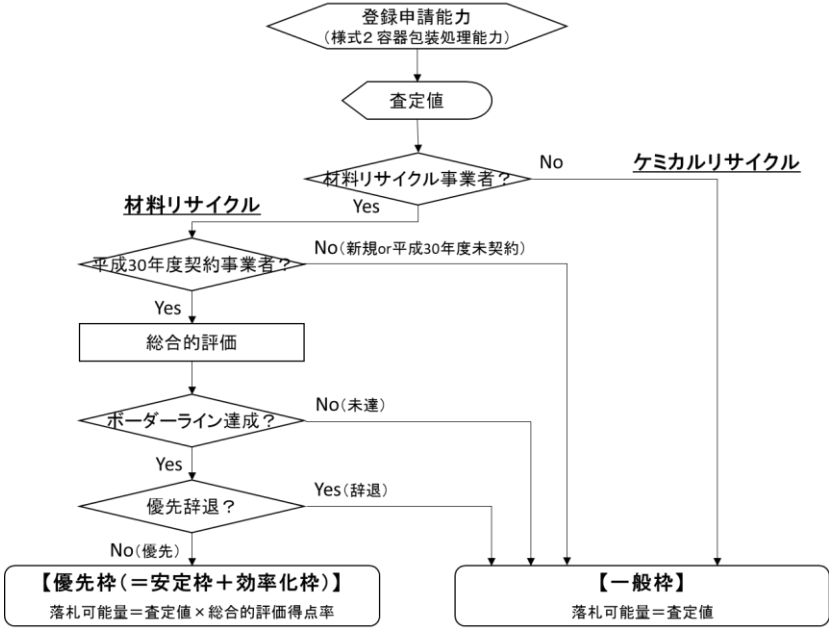
## 入札に関する重要事項について (プラスチック製容器包装)

### 1. 昨年度からの変更点

- (1) 落札可能量の減量は原則として認めない。
- (2) 安定枠落札可能量に関する係数 C (資料 5 (当日配布資料) 参照)。
- (3) 消費税率変更に伴い、来年 10 月以降の販売実績に基づくお支払いについて新税率 (10%) を適用する。
- (4) 改元に関して、旧元号は新元号に読み替えるものとする。

入札制度の概要については、以下の図を参照。

平成31年度プラスチック製容器包装入札制度の概要



### 2. その他の重要事項

以下の項目について、再度確認願いたい。

- (1) 電子入札委任状の取得方法 (資料 7)
- (2) 再商品化実施契約書 (資料 11)
- (3) 再商品化実施に関する不適正行為等に関する措置規程 (資料 12)

### 3. 市町村・保管施設情報

平成 31 年度入札条件リストに関して、以下の項目の文言追加・修正を行った。

#### (1) 「保管可能容量（立法メートル）」を追加

4 素材共通で、市町村保管施設で選別・圧縮したベールの保管可能容量を追加した。

#### (2) 「ベール重量」を追加

平成 31 年度の入札条件リストより、白色トレイ収集袋の重量（k g）（中身のトレイとフレコンの合計重量）、プラスチック製容器包装のベール重量（k g）を追加した。入札の際に運搬費用を計算する情報として参照いただきたい。

なお、プラスチック製容器包装のベール重量は、年間を通じたおおよその平均重量である。

#### (3) 「ベール種類（特徴）」の文言変更

昨年度までは、「混合品（一般的なベール）」、「ボトル系のみ」、「ボトル系を除く」、「トレイのみ」、「フィルム系のみ」、「その他」の選択区分としていたが、平成 31 年度の入札条件リストより、「混合品（一般的なベール）」、「ボトルを主体としたベール」、「ボトル系を除く」、「トレイを主体としたベール」、「その他」の選択区分とした。

「主体」とは、1 ベールあたりの重量比でボトル（トレイ）が約半分以上を占めるという意味である。

以上